



イワガラミ [岩絡み]

落葉／つる類／木本植物／在来種



科名 アジサイ科 (APGⅢ)

特記 生長：速い
草本扱い（保証の観点より）

5～7月の山地で、大木に絡んで白い花をつけている姿を見かける。新緑に白い装飾花がよく映えて爽やかに映る。気根を伸ばして這い上がる姿はツルアジサイによく似ているが、ツルアジサイの装飾花が4枚あるのに対し、イワガラミは1枚。葉の鋸歯も粗い点などが異なる。



葉



花



花（詳細）



実

Memo

鎌倉の東慶寺では、毎年6月に本堂裏のイワガラミが公開される。樹名通り岩を覆いつくしている。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
🌸	花期					■								
🍒	果実									■				
🍂	黄葉										■			
🌱	施肥	■ (痩せ地でなければ不要)												
✂️	剪定	■										■ (花後早めに) ★★		
★: 花芽分化の時期 (分化後に剪定すると花付が少なくなる)														

好みの環境				
日当たり	陽	○	○	陰
土壌	乾		○	湿
寒さ	強	○		弱
暑さ	強		○	弱
潮風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○				○	

ポイント

乾燥は苦手だが、木漏れ日程度の半日陰地でもよく育つ丈夫なつる植物。淡いピンクの花をつける園芸品種もあり、ガーデニングに取り入れやすい。管理のポイントは、花後のつるの整理と誘導。

剪定

上へ上へとつるを伸ばすので、つるを整理して誘導しないとまとまらない。夏過ぎには翌年の花芽をつけるため、花が終わったら早目に剪定し、夏以降の剪定は軽めにするとよい。

病虫害

病虫害は少ない。花殻をいつまでも付けていると美観を損なうが、適度に残すと野趣を味わえる。